

調査結果の概要

学校調査

1 小学校

(1) 学校数 [表1、統計表1・22]

ア 学校数は845校で、前年度より6校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.4%)、公立833校(同98.6%)、私立9校(同1.1%)である。

(2) 学級数 [表1、統計表9・22]

ア 学級数は12,022学級で、前年度より60学級(0.5%)増加している。

イ 設置者別では、国立51学級(構成比0.4%)、公立11,869学級(同98.7%)、私立102学級(同0.8%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級10,695学級(構成比89.0%)、複式学級87学級(同0.7%)、75条の学級1,240学級(同10.3%)である。

表1 小学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学校数				学級数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成13年度	861	3	849	9	11,683	10,554	90	1,039
14	860	3	848	9	11,695	10,500	89	1,106
15	857	3	845	9	11,737	10,483	96	1,158
16	851	3	839	9	11,962	10,667	93	1,202
17	845	3	833	9	12,022	10,695	87	1,240

(3) 児童数 [表2、図1、統計表11・22]

ア 児童数は326,520人で、前年度より1,671人(0.5%)増加している。

昭和56年度の536,442人をピークに連続して減少していたが、前年度に23年ぶりの増加に転じ、本年度も引き続き増加している。

イ 設置者別では、国立1,660人(構成比0.5%)、公立321,358人(同98.4%)、私立3,502人(同1.1%)である。

ウ 男女別では、男166,891人(構成比51.1%)、女159,629人(同48.9%)である。

エ 1学級当たりの児童数は27.2人(全国値26.1人)で、前年度と同数である。

オ 教員(本務者)1人当たりの児童数は18.2人(全国値17.3人)で、前年度より0.1人減少している。

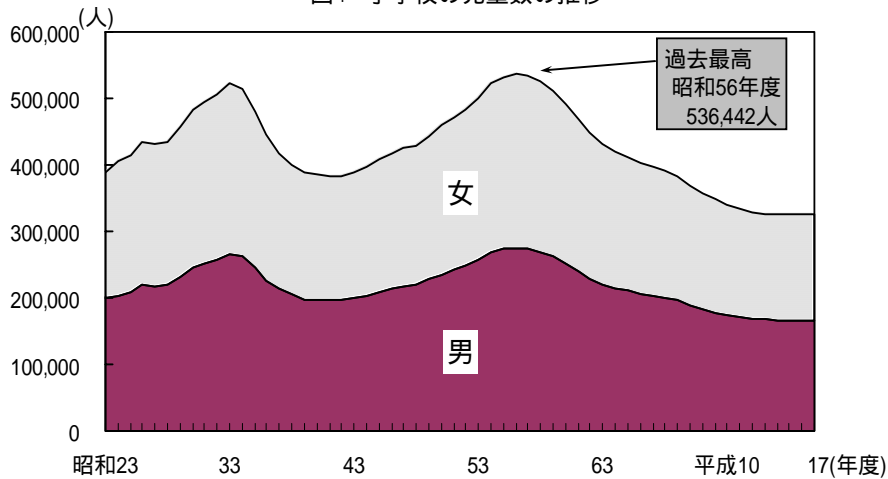
表2 小学校の児童数 (人)

区分	児童数			1学級当たりの児童数		教員(本務者)1人当たりの児童数	
	男	女		全国値		全国値	
平成13年度	326,213	167,212	159,001	27.9	26.9	18.9	17.9
14	324,517	166,254	158,263	27.7	26.7	18.7	17.6
15	324,482	166,198	158,284	27.6	26.5	18.5	17.5
16	324,849	166,262	158,587	27.2	26.3	18.3	17.4
17	326,520	166,891	159,629	27.2	26.1	18.2	17.3

(注)1 「1学級当たりの児童数」とは、児童数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの児童数」とは、児童数計を教員数(本務者)で割った数値である。

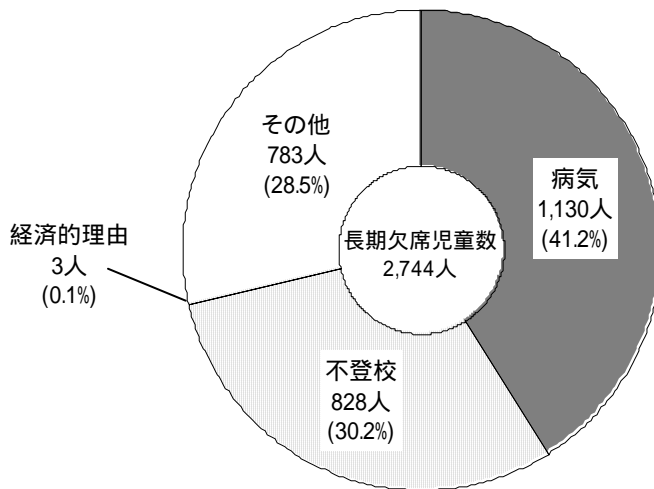
図1 小学校の児童数の推移



(4) 長期欠席児童数 [図2、統計表15・22]

- ア 平成16年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した児童は2,744人で、前年度より100人(3.5%)減少している。これは全児童の0.8%(前年度より0.1ポイント低下)に当たる。
- イ 理由別の内訳では、病気1,130人(構成比41.2%)、経済的理由3人(同0.1%)、不登校828人(同30.2%)、その他783人(同28.5%)である。

図2 小学校の理由別長期欠席児童数



(5) 教員数(本務者) [表3、統計表18・22]

- ア 教員数(本務者)は17,939人で、前年度より211人(1.2%)増加している。
- イ 男女別では、男6,628人(構成比36.9%)、女11,311人(同63.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.1ポイント低下している。

表3 小学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成13年度	17,255	10,973
14	17,388	11,027
15	17,522	11,072
16	17,728	11,199
17	17,939	11,311

2 中学校

(1) 学校数 [表4、統計表1・23]

ア 学校数は401校で、前年度より、4校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.7%)、公立357校(同89.0%)、私立41校(同10.2%)である。

(2) 学級数 [表4、統計表9・23]

ア 学級数は5,041学級で、前年度より34学級(0.7%)減少している。

イ 設置者別では、国立30学級(構成比0.6%)、公立4,666学級(同92.6%)、私立345学級(同6.8%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級4,547学級(構成比90.2%)、75条の学級494学級(同9.8%)である。

表4 中学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数				学 級 数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成13年度	404	3	363	38	5,340	4,919	-	421
14	405	3	363	39	5,240	4,809	-	431
15	405	3	363	39	5,148	4,694	-	454
16	405	3	361	41	5,075	4,605	-	470
17	401	3	357	41	5,041	4,547	-	494

(3) 生徒数 [表5、図3、統計表11・23]

ア 生徒数は161,198人で、前年度より1,581人(1.0%)減少し、昭和62年度以降(昭和61年度の生徒数273,732人)19年連続して減少しており、過去最低となっている。

イ 設置者別では、国立1,020人(構成比0.6%)、公立147,060人(同91.2%)、私立13,118人(同8.1%)である。

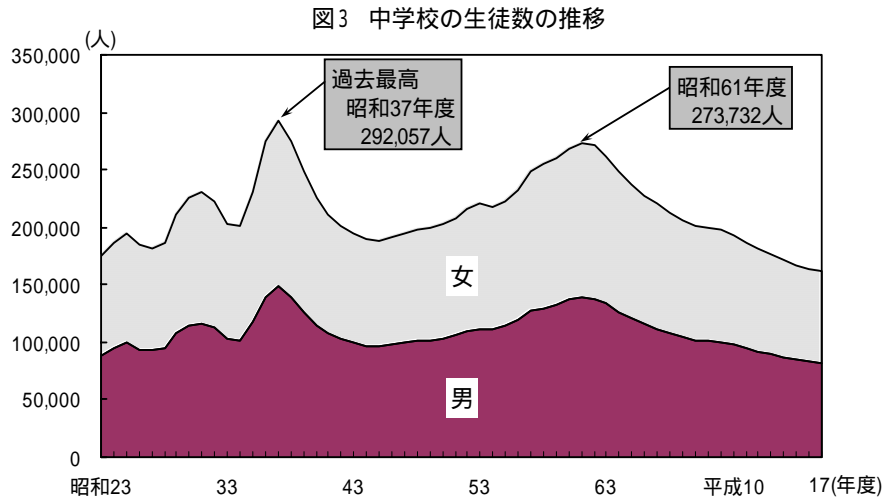
ウ 男女別では、男82,135人(構成比51.0%)、女79,063人(同49.0%)である。

エ 1学級当たりの生徒数は32.0人(全国値30.7人)で、前年度より0.1人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.1人(全国値14.6人)で、前年度より0.2人減少している。

表5 中学校の生徒数 (人)

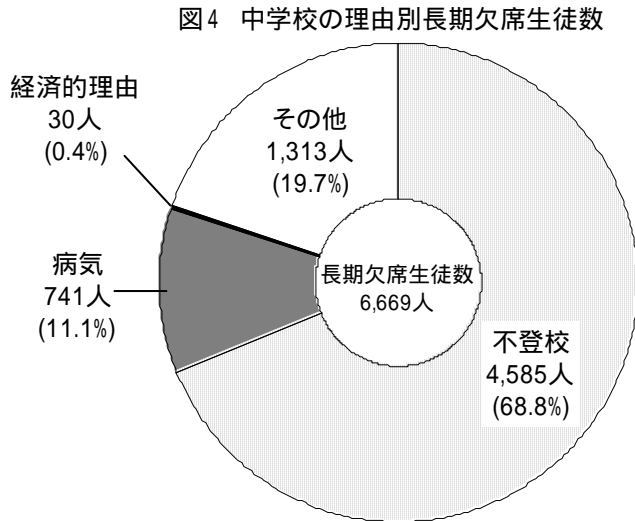
区分	生 徒 数			1学級当たり の生徒数		教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女		全国値	全国値	全国値	
平成13年度	176,206	89,739	86,467	33.0	32.1	16.1	15.6
14	170,952	87,302	83,650	32.6	31.7	15.8	15.2
15	166,624	85,065	81,559	32.4	31.3	15.6	14.9
16	162,779	83,012	79,767	32.1	31.0	15.3	14.7
17	161,198	82,135	79,063	32.0	30.7	15.1	14.6



(4) 長期欠席生徒数 [図4、統計表15・23]

ア 平成16年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した生徒は6,669人で、前年度より428人(6.0%)減少している。これは、全生徒の4.1%(前年度より0.3ポイント低下)に当たる。

イ 理由別の内訳では、病気741人(構成比11.1%)、経済的理由30人(同0.4%)、不登校4,585人(同68.8%)、その他1,313人(同19.7%)である。



(5) 教員数(本務者) [表6、統計表18・23]

ア 教員数(本務者)は10,649人で、前年度より4人増加している。

イ 男女別では、男6,606人(構成比62.0%)、女4,043人(同38.0%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.3ポイント上昇している。

表6 中学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成13年度	10,940	4,116
14	10,822	4,077
15	10,711	4,056
16	10,645	4,012
17	10,649	4,043

3 高等学校

(1) 学校数 [表7、統計表1・4・24]

ア 学校数は224校で、前年度より7校減少している。

イ 設置者別では、公立172校(構成比76.8%)、私立52校(同23.2%)である。

ウ 課程別では、全日制独立校194校(構成比86.6%)、定時制独立校18校(同8.0%)、全日制・定時制併置校12校(同5.4%)である。

(2) 学級数 [表7、統計表9・24]

学級数(教科外活動としてホームルーム活動を行うために編成されている公立学校本科の学級数)は3,057学級で、前年度より105学級(3.3%)減少している。

表7 高等学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数						学級数
	設置者別		課程別				
	公立	私立	全日制	定時制	併置		
平成13年度	229	177	52	196	22	11	3,485
14	230	178	52	197	22	11	3,368
15	232	180	52	198	22	12	3,256
16	231	179	52	199	20	12	3,162
17	224	172	52	194	18	12	3,057

(3) 生徒数 [表8、図5・6、統計表11・12・24]

ア 生徒数は154,209人で、前年度より5,111人(3.2%)減少し、平成元年度の245,779人をピークに16年連続して減少している。

イ 設置者別では、公立115,571人(構成比74.9%)、私立38,638人(同25.1%)である。

ウ 男女別では、男76,741人(構成比49.8%)、女77,468人(同50.2%)である。

エ 本科の生徒数は154,067人で、課程別にみると全日制147,644人(構成比95.8%)、定時制6,423人(同4.2%)である。

専攻科の生徒は142人である。

オ 本科の学科別生徒数をみると、普通科118,938人(構成比77.2%)、工業科11,405人(同7.4%)、商業科8,242人(同5.3%)、総合学科6,805人(同4.4%)の順となっている。

カ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.5人(全国値14.3人)で、前年度より0.2人減少している。

表8 高等学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数								教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
		男	女	本 科	本 科		専攻科	別科	全国値	
					全日制	定時制				
平成13年度	173,961	84,615	89,346	173,767	167,460	6,307	161	33	15.5	15.2
14	168,290	82,470	85,820	168,101	161,714	6,387	161	28	15.2	15.0
15	163,153	80,425	82,728	162,971	156,556	6,415	155	27	14.9	14.7
16	159,320	79,021	80,299	159,161	152,641	6,520	159	-	14.7	14.5
17	154,209	76,741	77,468	154,067	147,644	6,423	142	-	14.5	14.3

図5 高等学校の生徒数の推移

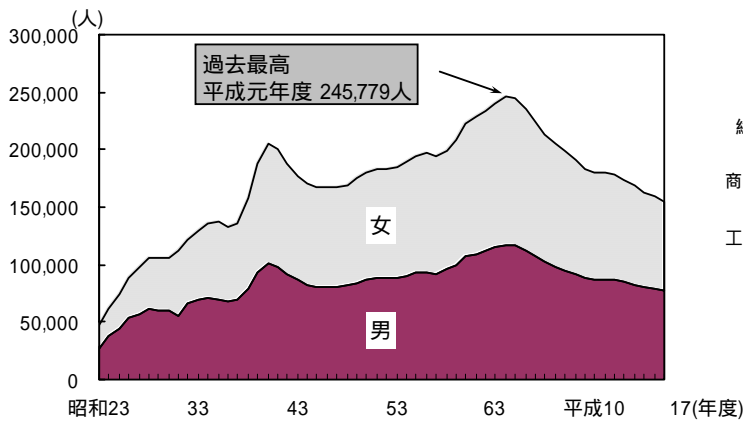
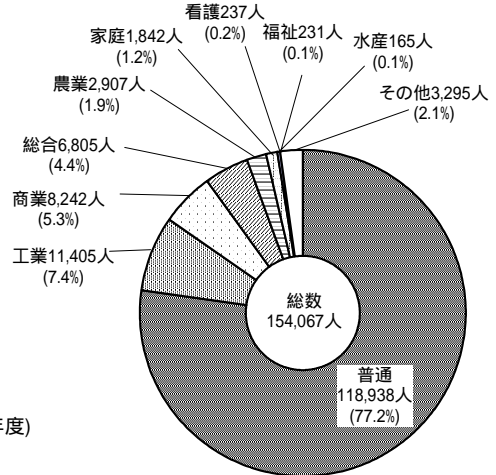


図6 高等学校(本科)の学科別生徒数



(4) 入学状況(本科) [表9、統計表16]

ア 入学志願者は85,718人で、前年度より1,472人(1.7%)減少している。

イ 入学者数は50,606人で、前年度より2,445人(4.6%)減少している。

男女別では、男25,275人(構成比49.9%)、女25,331人(同50.1%)である。

ウ 入学者のうち他府県所在の中学校卒業者は588人(構成比1.2%)、過年度中学校卒業者は439人(同0.9%)である。

表9 高等学校(本科)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数			入学者数			入学率		
	a	b / a × 100		b	b / a × 100		b / a × 100		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
計	85,718	42,173	43,545	50,606	25,275	25,331	59.0	59.9	58.2
公立	46,592	23,521	23,071	37,723	18,708	19,015	81.0	79.5	82.4
私立	39,126	18,652	20,474	12,883	6,567	6,316	32.9	35.2	30.8
全日計	83,282	40,563	42,719	48,571	23,950	24,621	58.3	59.0	57.6
公立	44,156	21,911	22,245	35,688	17,383	18,305	80.8	79.3	82.3
私立	39,126	18,652	20,474	12,883	6,567	6,316	32.9	35.2	30.8
定時計	2,436	1,610	826	2,035	1,325	710	83.5	82.3	86.0
公立	2,436	1,610	826	2,035	1,325	710	83.5	82.3	86.0
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-

同一人が2以上の学校に入学志願した場合は、それぞれの学校の入学志願者として計上されるので入学志願者数は延数である。

(5) 教員数(本務者) [表10、統計表18・24]

ア 教員数(本務者)は10,662人で、前年度より192人(1.8%)減少している。

イ 男女別では、男7,836人(構成比73.5%)、女2,826人(同26.5%)で、女性教員の占める比率は、前年度と同率である。

表10 高等学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成13年度	11,218	8,405	2,813
14	11,044	8,248	2,796
15	10,919	8,105	2,814
16	10,854	7,979	2,875
17	10,662	7,836	2,826

(6) 通信制 [統計表1・11・18・25]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 生徒数は2,608人(男1,219人、女1,389人)で、前年度より42人(1.6%)減少している。

ウ 教員数(本務者)は50人(男38人、女12人)で、前年度と同数である。

4 中等教育学校 [表 11、統計表 1・9・11・18・26]

(1) 学校数

学校数は1校(公立1校)で、前年度と同数である。

(2) 学級数

学級数は6学級で、前年度より2学級増加している。

(3) 生徒数

生徒数は232人(男71人、女161人)で、前年度より75人(47.8%)増加している。

(4) 教員数(本務者)

教員数(本務者)は23人(男15人、女8人)で、前年度より5人(27.8%)増加している。

表11 中等教育学校の学校数、学級数、生徒数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	前期課程				後期課程				教員数 (本務者)
		学級数	生徒数		学級数	生徒数				
			男	女		男	女			
平成13年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	1	2	80	33	47	-	-	-	12	
16	1	4	157	57	100	-	-	-	18	
17	1	6	232	71	161	-	-	-	23	

中等教育学校とは、平成10年の学校教育法の改正により創設された学校制度で、本県では平成15年度より設置している。

5 盲・聾・養護学校

(1) 盲学校 [表 12、統計表 1・9・11・18・27]

ア 学校数

学校数は3校(県立2校、市立1校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は48学級で、前年度と同数である。

ウ 在学者数

在学者数は110人(男76人、女34人)で、前年度より1人(0.9%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は122人で、前年度より3人(2.4%)減少している。男女別では、男70人(構成比57.4%)、女52人(同42.6%)で、女性教員の占める比率は、前年度より1.4ポイント低下している。

表12 盲学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成13年度	3	50	129	4	20	19	86	1.04	1.16	124
14	3	51	128	6	21	19	82	1.03	1.14	124
15	3	52	120	3	18	18	81	0.95	1.14	126
16	3	48	109	3	21	11	74	0.87	1.14	125
17	3	48	110	4	19	18	69	0.90	1.13	122

(2) 聾学校 [表13、統計表1・9・11・18・28]

ア 学校数

学校数は5校(県立5校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は66学級で、前年度より2学級増加している。

ウ 在学者数

在学者数は227人(男129人、女98人)で、前年度より8人(3.7%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は175人で、前年度より4人(2.3%)増加している。男女別では、男77人(構成比44.0%)、女98人(同56.0%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.1ポイント低下している。

表13 聾学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成13年度	5	63	237	72	56	39	70	1.35	1.39	175
14	5	64	230	70	56	42	62	1.31	1.37	175
15	5	61	219	62	56	45	56	1.27	1.36	173
16	5	64	219	60	62	40	57	1.28	1.33	171
17	5	66	227	55	71	40	61	1.30	1.33	175

(3) 養護学校 [表14、統計表1・9・11・18・29]

ア 学校数

学校数は34校(国立1校、県立16校、市立17校)で、前年度より県立が1校増加している。

イ 学級数

学級数は945学級で、前年度より27学級増加(2.9%)している。

ウ 在学者数

在学者数は3,322人(男2,141人、女1,181人)で、前年度より99人(3.1%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は2,236人で、前年度より69人(3.2%)増加している。男女別では、男1,063人(構成比47.5%)、女1,173人(同52.5%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.5ポイント上昇している。

表14 養護学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成13年度	33	890	2,957	14	735	690	1,518	1.43	1.62	2,068
14	33	902	3,050	15	750	698	1,587	1.46	1.62	2,095
15	33	919	3,158	20	762	679	1,697	1.48	1.63	2,135
16	33	918	3,223	16	769	725	1,713	1.49	1.64	2,167
17	34	945	3,322	10	795	732	1,785	1.49	1.65	2,236

6 幼稚園

(1) 学校数 [表15、統計表1・30]

ア 学校数は766園で、前年度より10園減少している。

イ 設置者別では、国立2園(構成比0.3%)、公立519園(同67.8%)、私立245園(同32.0%)である。

表15 幼稚園の学校数及び学級数

区分	学校数			学級数	
	国立	公立	私立		
平成13年度	797	2	545	250	3,090
14	789	2	539	248	3,130
15	781	2	532	247	3,152
16	776	2	529	245	3,138
17	766	2	519	245	3,124

(2) 学級数 [表15、統計表9・30]

ア 学級数は3,124学級で、前年度より14学級(0.4%)減少している。

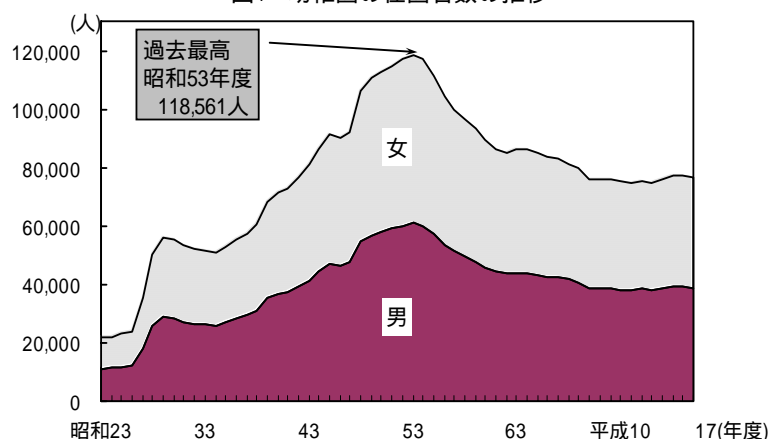
イ 設置者別では、国立10学級(構成比0.3%)、公立1,355学級(同43.4%)、私立1,759学級(同56.3%)である。

(3) 在園者数 [表16、図7、統計表11・30]

ア 在園者数は76,259人(男38,796人、女37,463人)で、前年度より649人(0.8%)減少している。

イ 年齢別では、3歳児11,468人、4歳児28,998人、5歳児35,793人で、前年度より3歳児は355人、4歳児で43人それぞれ増加し、5歳児で1,047人減少している。

図7 幼稚園の在園者数の推移



(4) 修了者数 [表16、統計表30]

ア 修了者数は36,894人で、前年度より160人(0.4%)減少している。

イ 就園率(本年度の小学校第1学年の児童数に占める本年3月の幼稚園修了者の比率)は66.6%で、前年度より1.0ポイント低下している。

表16 幼稚園の在園者数及び修了者数

区分	在園者数						教員(本務者)1人当たりの在園者数		修了者数	就園率	
	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	全国値	全国値	全国値			
	平成13年度	74,898	38,232	36,666	9,776	28,304	36,818	16.7	16.4	38,909	70.5
14	75,933	38,511	37,422	10,178	28,705	37,050	16.5	16.4	36,876	68.9	59.9
15	77,033	39,025	38,008	10,764	29,227	37,042	16.5	16.2	37,117	68.3	59.3
16	76,908	39,025	37,883	11,113	28,955	36,840	16.3	16.0	37,054	67.6	58.9
17	76,259	38,796	37,463	11,468	28,998	35,793	16.0	15.7	36,894	66.6	58.4

(5) 教員数(本務者) [表17、統計表18・30]

ア 教員数(本務者)は4,757人で、前年度より41人(0.9%)増加している。

イ 男女別では、男184人(構成比3.9%)、女4,573人(同96.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.4ポイント低下している。

表17 幼稚園の教員数(本務者)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成13年度	4,491	152	4,339
14	4,601	158	4,443
15	4,671	162	4,509
16	4,716	163	4,553
17	4,757	184	4,573

7 専修学校

(1) 学校数 [表18、統計表1・31]

学校数は102校(国立1校、公立10校、私立91校)で、前年度より3校増加している。

(2) 生徒数 [表18、図8、10、統計表7・31]

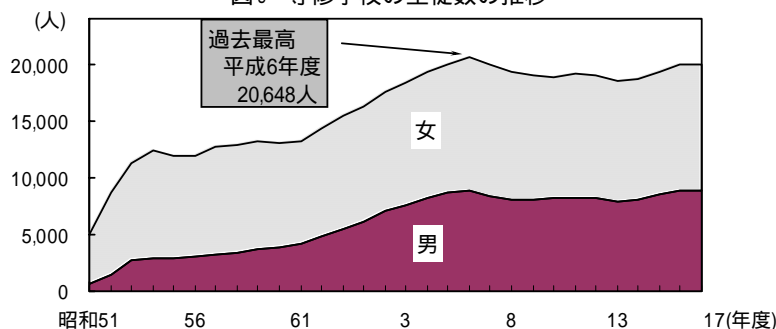
生徒数は19,949人(男8,904人、女11,045人)で、前年度より7人増加している。

表18 専修学校の学校数及び生徒数

(校、人)

区分	学校数			生徒数						
	国立	公立	私立	男	女	高等課程	専門課程	一般課程		
平成13年度	101	4	11	86	18,468	7,968	10,500	3,347	15,121	-
14	100	3	10	87	18,678	7,997	10,681	2,691	15,987	-
15	100	3	9	88	19,360	8,573	10,787	2,491	16,869	-
16	99	1	9	89	19,942	8,796	11,146	2,276	17,666	-
17	102	1	10	91	19,949	8,904	11,045	2,017	17,932	-

図8 専修学校の生徒数の推移



(3) 教員数(本務者) [表19、統計表31]

ア 教員数(本務者)は1,256人で、前年度より14人(1.1%)増加している。

イ 男女別では、男579人(構成比46.1%)、女677人(同53.9%)で、女性教員の占める比率は前年度より、1.4ポイント低下している。

表19 専修学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成13年度	1,211	683
14	1,203	682
15	1,265	717
16	1,242	687
17	1,256	677

図9 専修学校の学科数

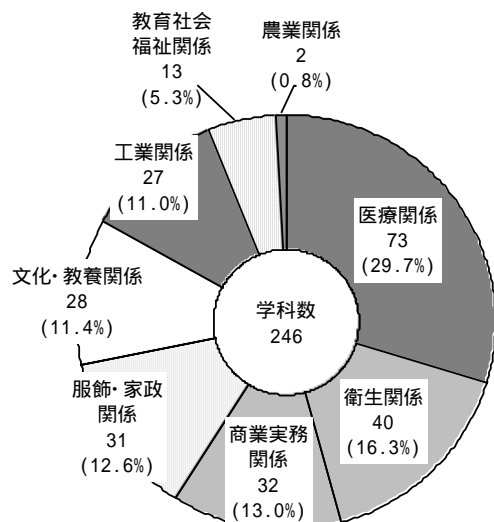
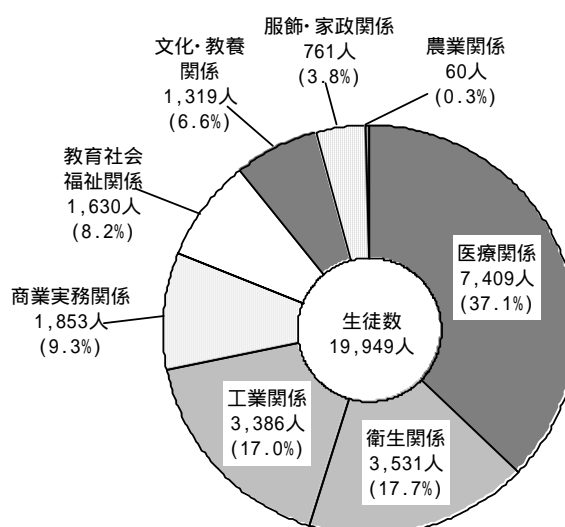


図10 専修学校の学科別生徒



8 各種学校

(1) 学校数 [表20、統計表1・32]

学校数は101校(私立101校)で、前年度より3校減少している。

(2) 生徒数 [表20、図11、13、統計表8・32]

生徒数は10,067人(男4,907人、女5,160人)で、前年度より114人(1.1%)減少している。

(3) 教員数(本務者) [表20、統計表32]

ア 教員数(本務者)は599人で、前年度より28人(4.5%)減少している。

イ 男女別では、男337人(構成比56.3%)、女262人(同43.7%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.3ポイント上昇している。

表20 各種学校の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生徒数		教員数(本務者)			
		男	女	男	女	合計	
平成13年度	130	11,598	5,502	6,096	675	369	306
14	125	11,072	5,297	5,775	642	354	288
15	109	10,385	5,039	5,346	629	348	281
16	104	10,181	4,983	5,198	627	355	272
17	101	10,067	4,907	5,160	599	337	262

図11 各種学校の生徒数の推移

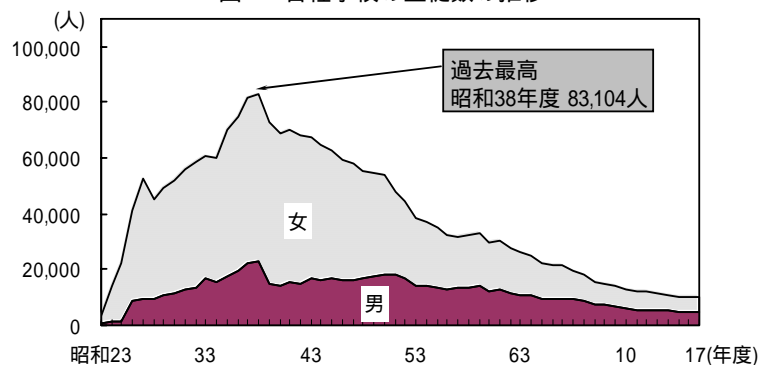


図12 各種学校の課程数

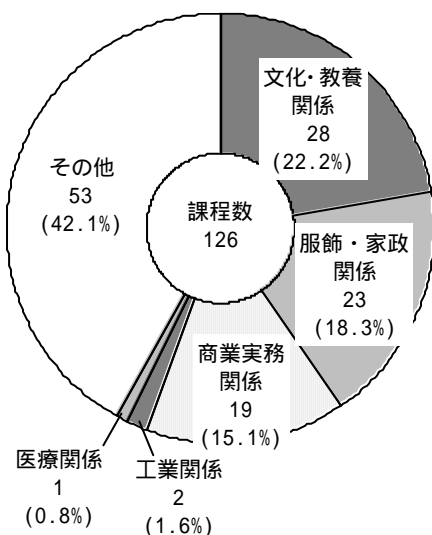
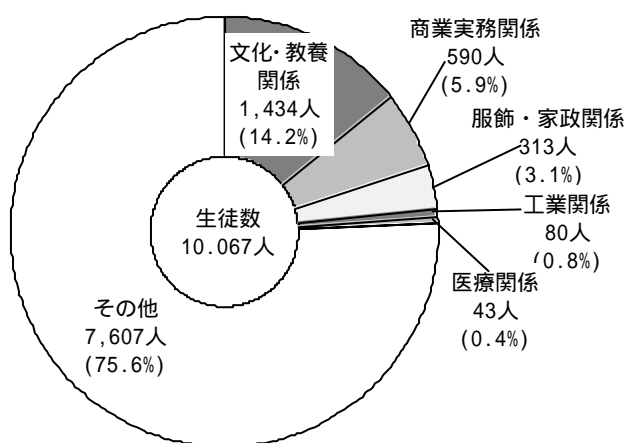


図13 各種学校の課程別生徒数



9 大 学

(1) 学 校 数 [表21、統計表41・44]

- ア 学校数は38校で、前年度より、私立が2校増加している。
- イ 設置者別では、国立2校、公立6校、私立30校である。

(2) 学 生 数 [表21、統計表43・44]

- ア 学生数は123,243人(学部108,687人、大学院9,598人、専攻科・別科等4,958人)で、前年度より2,406人(2.0%)増加している。
- イ 設置者別では、国立19,759人(構成比16.0%)、公立9,379人(同7.6%)、私立94,105人(同76.4%)で、前年度より国立は59人増加、公立は253人減少、私立は2,600人増加している。
- ウ 男女別では、男61,470人(構成比49.9%)で前年度より2,121人増加、女61,773人(同50.1%)で285人増加している。

(3) 教 員 数(本務者) [表21、統計表44]

教員数(本務者)は5,630人で、前年度より104人(1.9%)増加している。

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)
			男	女	うち学部	うち大学院	
平成13年度	36	117,610	58,776	58,834	106,468	8,193	5,261
14	36	119,669	59,388	60,281	108,188	8,459	5,364
15	36	121,066	59,711	61,355	109,359	8,648	5,389
16	36	120,837	59,349	61,488	108,911	9,085	5,526
17	38	123,243	61,470	61,773	108,687	9,598	5,630

(4) 学部学生及び大学院学生 [表22、統計表45・48]

- ア 学部学生は108,687人(男52,547人、女56,140人)で、前年度より224人(0.2%)減少している。
関係分野別にみると、「社会科学関係」41,674人(構成比38.3%)が最も多く、次いで「人文科学関係」30,085人(同27.7%)、「保健関係」6,820人(同6.3%)の順となっている。
昼夜別では、昼間107,598人(構成比99.0%)、夜間1,089人(同1.0%)である。
- イ 大学院学生は9,598人で、前年度より513人(5.6%)増加している。
課程別にみると、修士課程5,990人(男3,597人、女2,393人)、博士課程2,653人(男1,684人、女969人)、専門職学位課程955人(男703人、女252人)である。
関係分野別では、「社会科学関係」2,271人(構成比23.7%)が最も多く、次いで「保健関係」1,144人(同11.9%)、「人文科学関係」1,043人(同10.9%)の順となっている。

表22 大学の関係分野別学生数

(人、%)

区分	学 部				大 学 院			
		男	女	構成比		男	女	構成比
計	108,687	52,547	56,140	100.0	9,598	5,984	3,614	100.0
人文科学関係	30,085	6,715	23,370	27.7	1,043	395	648	10.9
社会科学関係	41,674	29,404	12,270	38.3	2,271	1,610	661	23.7
理 学 関 係	1,552	1,144	408	1.4	359	271	88	3.7
工 学 関 係	5,048	4,197	851	4.6	382	342	40	4.0
農 学 関 係	706	400	306	0.6	-	-	-	-
保 健 関 係	6,820	1,924	4,896	6.3	1,144	623	521	11.9
商 船 関 係	968	882	86	0.9	-	-	-	-
家 政 関 係	4,285	15	4,270	3.9	58	3	55	0.6
教 育 関 係	2,213	775	1,438	2.0	903	471	432	9.4
芸 術 関 係	2,707	1,215	1,492	2.5	67	27	40	0.7
そ の 他	12,629	5,876	6,753	11.6	3,371	2,242	1,129	35.1

(5) 学部学生の入学状況 [表23、統計表46・47]

ア 大学学部への入学志願者数は152,400人で、前年度より3,230人(2.1%)減少している。

男女別では、男73,859人(構成比48.5%)で前年度より842人、女78,541人(同51.5%)で2,388人減少している。

イ 入学者数は26,195人で、前年度より199人(0.8%)増加している。

男女別では、男12,832人(構成比49.0%)で前年度より312人増加、女13,363人(同51.0%)で113人減少している。

卒業年次別にみると、平成17年3月(新規)高等学校卒業者が21,765人(構成比83.1%)と最も多く、平成16年3月高等学校卒業者3,088人(同11.8%)、平成15年3月以前高等学校卒業者398人(同1.5%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より2.3ポイント上昇している。

入学者のうち12,355人(男5,874人、女6,481人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は47.2%で前年度より0.5ポイント上昇している。

表23 大学(学部)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業者数		うち新規高校 卒業者数	うち県内高校 出身者数
計	152,400	115,863	26,195	21,765 (83.1)	12,355 (47.2)
男	73,859	49,925	12,832	9,878 (77.0)	5,874 (45.8)
女	78,541	65,938	13,363	11,887 (89.0)	6,481 (48.5)

()は構成比

10 短期大学

(1) 学校数 [表24、統計表49・51]

- ア 学校数は23校で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、公立1校、私立22校である。

(2) 学生数 [表24、統計表51]

- ア 学生数は11,849人(本科11,572人、専攻科168人、その他109人)で、前年度より833人(6.6%)減少している。
- イ 男女別では、男1,323人(構成比11.2%)で前年度より14人減少、女10,526人(同88.8%)で819人減少している。

(3) 教員数(本務者) [表24、統計表51]

教員数(本務者)は659人で、前年度より11人(1.6%)減少している。

表24 短期大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数			教員数 (本務者)	
		男	女	うち本科		
平成13年度	25	15,016	1,120	13,896	14,725	750
14	24	13,600	1,108	12,492	13,317	688
15	23	13,032	1,223	11,809	12,699	670
16	23	12,682	1,337	11,345	12,360	670
17	23	11,849	1,323	10,526	11,572	659

表25 短期大学の関係分野別本科学学生数

(4) 本科学学生数 [表25、統計表52]

- ア 本科学学生数は11,572人(男1,257人、女10,315人)で、前年度より788人(6.4%)減少している。
- イ 関係分野別にみると、「教育関係」3,915人(構成比33.8%)が最も多く、次いで「家政関係」3,276人(同28.3%)、「人文関係」1,540人(同13.3%)の順となっている。

(人、%)

区分	学 生 数			構成比
	男	女		
計	11,572	1,257	10,315	100.0
人 文	1,540	54	1,486	13.3
社 会	68	-	68	0.6
教 養	61	-	61	0.5
工 業	691	651	40	6.0
農 業	40	40	-	0.3
保 健	539	57	482	4.7
家 政	3,276	52	3,224	28.3
教 育	3,915	250	3,665	33.8
芸 術	684	87	597	5.9
その他	758	66	692	6.6

(5) 本科学学生の入学状況 [表26、統計表53・54]

- ア 短期大学の本科への入学志願者数は13,372人で、前年度より2,463人(15.6%)減少している。
男女別では、男1,024人(構成比7.7%)で前年度より65人減少し、女12,348人(同92.3%)で2,398人減少した。
- イ 入学者数は5,368人で、前年度より557人(9.4%)減少している。
男女別では、男581人(構成比10.8%)で前年度より45人減少し、女4,787人(同89.2%)で512

人減少している。

卒業年次別にみると、平成 17 年 3 月（新規）高等学校卒業者が 5,061 人（構成比 94.3%）と最も多く、平成 15 年 3 月高等学校卒業者 134 人（同 2.5%）、平成 16 年 3 月以前高等学校卒業者 120 人（同 2.2%）、その他 53 人（同 1.0%）の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より 0.6 ポイント上昇している。

入学者のうち 3,393 人（男 275 人、女 3,118 人）が県内高等学校出身者であり、その占める比率は 63.2%で前年度より 1.1 ポイント上昇している。

表26 短期大学(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	13,372	12,532	5,368	5,061 (94.3)	3,393 (63.2)
男	1,024	819	581	465 (80.0)	275 (47.3)
女	12,348	11,713	4,787	4,596 (96.0)	3,118 (65.1)

()は構成比

11 高等専門学校

(1) 学 校 数 [表27、統計表55]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立1校、公立1校である。

(2) 学 生 数 [表27、統計表55]

ア 学生数は2,129人(本科2,007人、専攻科120人、その他2人)で、前年度より1人減少している。

イ 男女別では、男1,822人(構成比85.6%)で前年度より35人増加し、女307人(同14.4%)で36人減少している。

(3) 教 員 数(本務者) [表27、統計表55]

教員数(本務者)は165人で、前年度と同数である。

表27 高等専門学校の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)	
		男	女	本科	専攻科	その他		
平成13年度	2	2,112	1,734	378	1,986	126	-	164
14	2	2,124	1,758	366	2,004	120	-	165
15	2	2,124	1,776	348	2,006	118	-	165
16	2	2,130	1,787	343	2,010	116	4	165
17	2	2,129	1,822	307	2,007	120	2	165

(4) 本科学生の入学状況 [統計表57]

ア 入学志願者数は830人で、前年度より32人(3.7%)減少している。

イ 入学者は407人で、前年度より2人(0.5%)減少している。うち平成17年3月(新規)中学校卒業者は405人(構成比99.5%)で、その占める比率は前年度より0.3ポイント低下している。

卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業者数 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 本年3月の卒業者数は54,990人で、前年より2,531人(4.4%)減少している。
- イ 男女別では、男28,169人(構成比51.2%)、女26,821人(同48.8%)である。
- ウ 設置者別では、国立358人(構成比0.7%)、公立50,438人(同91.7%)、私立4,194人(同7.6%)である。

(2) 卒業者の進路状況 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 高等学校等進学者は53,558人で、前年より2,388人(4.3%)減少している。
男女別では、男27,337人(構成比51.0%)、女26,221人(同49.0%)である。
高等学校等進学率は97.4%で、前年より0.1ポイント上昇している。これを男女別にみると、男97.0%、女97.8%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
進路別にみると、高等学校本科が52,089人(構成比97.3%)と最も多く、次いで高等学校通信制659人(同1.2%)、高等専門学校450人(同0.8%)の順となっている。
高等学校等進学者のうち、他県への進学者は2,776人(男1,799人、女977人)で、前年より30人(1.1%)減少している。
- イ 専修学校(高等課程)進学者は172人(男105人、女67人)で、前年より16人(10.3%)増加し、専修学校(高等課程)進学率は0.3%で、前年と同率である。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は75人(男35人、女40人)で、前年より17人(18.5%)減少している。

表28 中学校の進路別卒業者数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	高等学校等進学率		就職率
										全国値		
平成13年3月	62,446	60,486	217	104	73	775	780	11	196	96.9	96.9	1.6
14	60,395	58,616	223	73	49	592	817	25	155	97.1	97.0	1.2
15	58,346	56,755	226	78	48	452	783	4	121	97.3	97.3	1.0
16	57,521	55,946	156	92	47	466	809	5	111	97.3	97.5	1.0
17	54,990	53,558	172	75	48	443	688	6	98	97.4	97.6	1.0

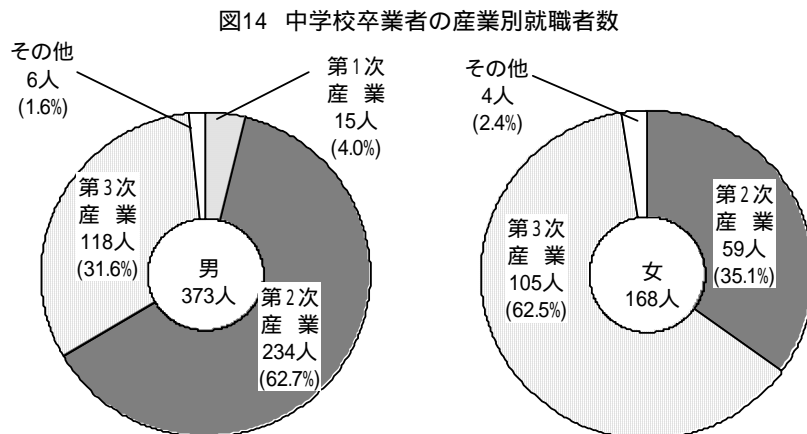
- (注) 1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。
 4 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

(3) 就職者数 [表28、図14・15、統計表58・60・70]

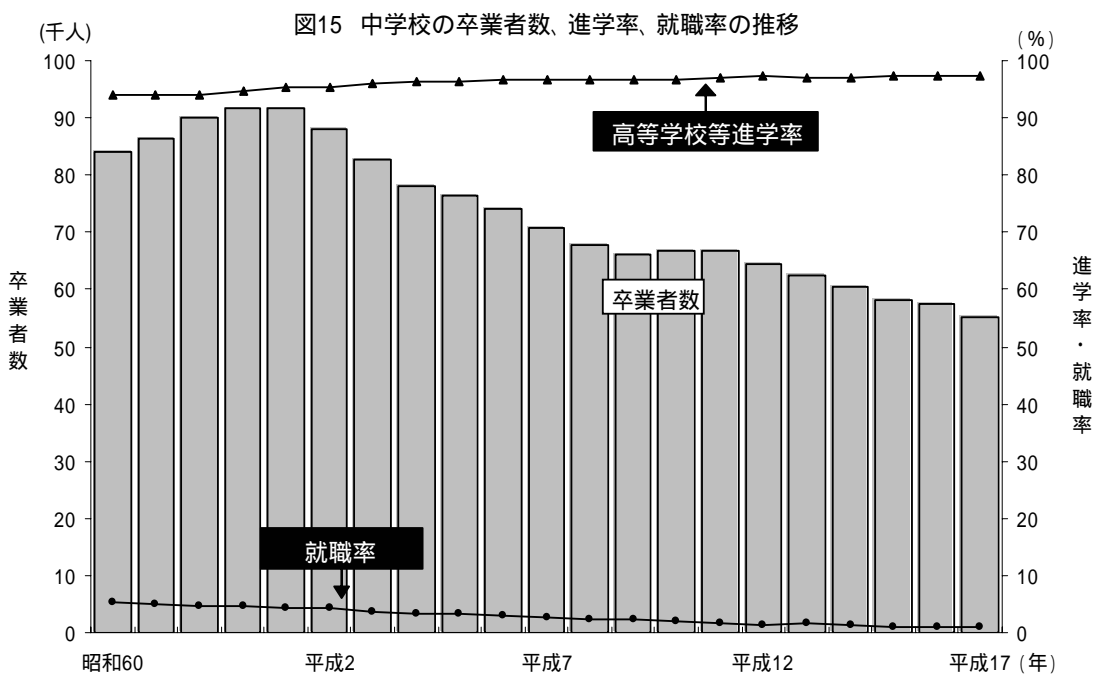
ア 就職者総数は541人(就職者443人、「高等学校等進学者」「専修学校(高等課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者98人)で、前年より36人(6.2%)減少している。

イ 就職率は1.0%(男1.3%、女0.6%)で、前年と同率で、過去最低である。

就職者を産業別にみると、第2次産業が293人(構成比54.2%)で最も多く、次いで第3次産業が223人(同41.2%)、第1次産業15人(同2.8%)、その他10人(同1.8%)となっている。



(注) 第1次産業とは、農業、林業、漁業をいう。
 第2次産業とは、鉱業、建設業、製造業をいう。
 第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業、公務、及び分類不能の産業をいう。



2 高等学校

(1) 卒業者数 [表29、図17、統計表62・71]

- ア 本年3月の卒業者数は51,589人で、前年より1,362人(2.6%)減少している。
- イ 男女別では、男25,390人(構成比49.2%)、女26,199人(同50.8%)である。
- ウ 設置者別では、公立38,843人(構成比75.3%)、私立12,746人(同24.7%)である。

(2) 卒業者の進路状況 [表29・30、図17、統計表62・63・71]

- ア 大学等進学者は28,325人で、前年より332人(1.2%)増加している。
男女別では、男13,389人(構成比47.3%)、女14,936人(同52.7%)である。
大学等進学率は54.9%で、前年より2.0ポイント上昇している。これを男女別にみると、男52.7%、女57.0%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。
大学等進学者を進路別にみると、大学(学部)への進学者が23,815人(構成比84.1%)と最も多く、次いで短期大学(本科)への進学者が4,382人(同15.5%)、高等学校(専攻科)82人(同0.3%)の順となっている。
- イ 専修学校(専門課程)進学者は8,623人(男3,456人、女5,167人)で前年より329人(3.7%)減少し、専修学校(専門課程)進学率は16.7%で前年より0.2ポイント低下している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は3,820人(男2,614人、女1,206人)で、前年より822人(17.7%)減少している。
- エ 大学等への志願状況は、大学学部への志願率が55.1%で前年より1.5ポイント上昇し、短期大学本科への志願率が8.8%で前年より0.7ポイント低下している。

表29 高等学校の進路別卒業者数

区分	計	大学等 進学者 A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等 入学者 D	就職者 E	一時的な 仕事に就 いた者 F	左記以外 の者	死亡・不 詳の者	左記A～D のうち就 職してい る者 (再掲)	大学等 進学率		就職率
											全国値		
平成13年3月	56,798	31,009	8,177	5,185	172	7,826	...	4,428	1	84	54.6	45.1	13.9
14	56,352	29,737	8,485	5,805	197	7,487	...	4,628	13	53	52.8	44.8	13.4
15	54,668	28,703	8,837	5,374	163	7,114	...	4,470	7	41	52.5	44.6	13.1
16	52,951	27,993	8,952	4,642	185	6,913	1,647	2,616	3	32	52.9	45.3	13.1
17	51,589	28,325	8,623	3,820	161	7,190	1,280	2,181	9	26	54.9	47.3	14.0

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。
 3 「一時的な仕事に就いた者」は、従来「上記以外の者」に包含されていたが、卒業後の状況として、進学も就職もしていない者が近年増加していることから、実態を把握するため、平成16年度より調査項目となった。
 4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Fの各項目に該当しない者で進路が未定である者である。
 5 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

表30 高等学校卒業者の大学等入学志願者数

区分	計	計		大学(学部)		短期大学(本科)	
		入 学 志 願 者	志 願 率	入 学 志 願 者	志 願 率	入 学 志 願 者	志 願 率
		A	B/A×100	C	C/A×100	D	D/A×100
平成13年3月	56,798	37,251	65.6	30,811	54.2	6,440	11.3
14	56,352	36,884	65.5	30,968	55.0	5,916	10.5
15	54,668	35,086	64.2	29,633	54.2	5,453	10.0
16	52,951	33,394	63.1	28,387	53.6	5,007	9.5
17	51,589	32,933	63.8	28,411	55.1	4,522	8.8

(3) 就職者数 [表29、図16・17、統計表62・65・66・67・71]

ア 就職者総数は7,216人(就職者7,190人、「大学等進学者」「専修学校(専門課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者26人)で、前年より271人(3.9%)増加している。

イ 就職率は14.0%(男17.2%、女10.8%)で、前年より0.9ポイント上昇している。

ウ 就職者のうち自家・自営業については263人(構成比3.6%)、職業安定所又は学校を通じて就職した者は5,738人(同79.5%)である。

エ 就職者を職業別にみると、「生産工程・労務作業者」が3,838人(構成比53.2%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,367人(同18.9%)、「販売従事者」743人(同10.3%)の順となっている。

オ 産業別では、「製造業」が3,258人(構成比45.1%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」830人(同11.5%)、「サービス業」641人(同8.9%)の順となっている。

カ 県外へ就職した者は1,145人(男741人、女404人)で、全体の15.9%である。

図16 高等学校卒業者の産業別就職者数

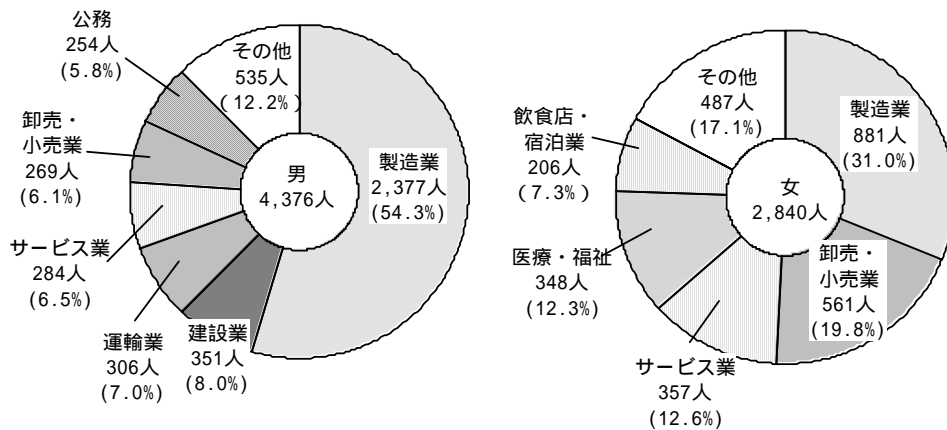
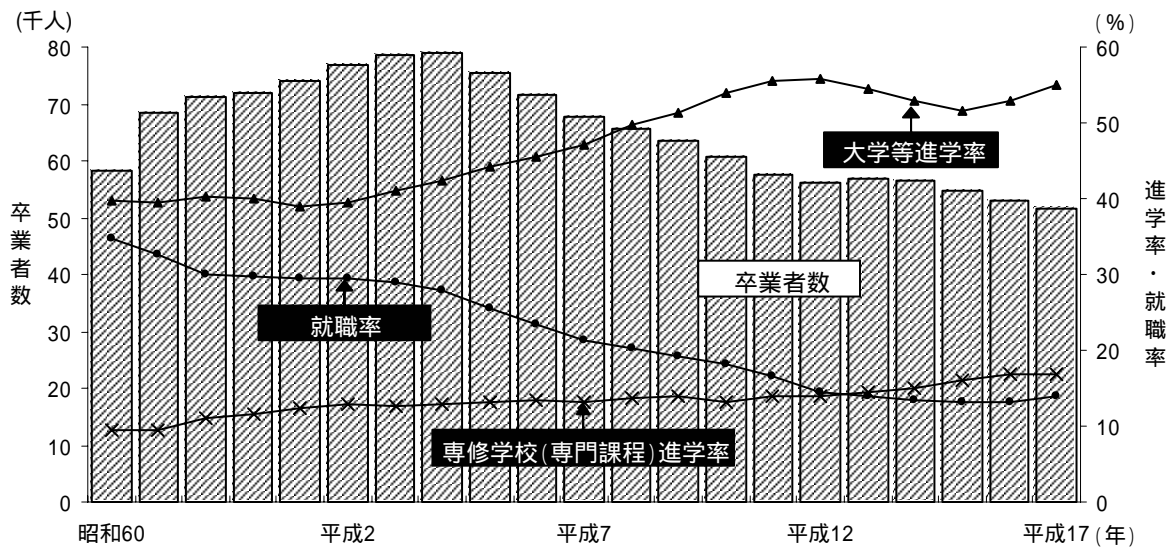


図17 高等学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



3 盲・聾・養護学校

(1) 中 学 部 [表31、統計表61]

ア 本年3月の卒業生数は259人で、前年より18人(7.5%)増加している。

イ 男女別では、男167人(構成比64.5%)、女92人(同35.5%)である。

表31 盲・聾・養護学校(中学部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者 F	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	高等学校等進学率	就職率
平成13年3月	243	231	-	-	-	-	10	2	-	8	95.1	-
14	242	230	-	-	-	-	12	-	-	9	95.0	-
15	272	266	-	-	-	-	6	-	-	4	97.8	-
16	241	232	-	-	-	-	9	-	-	6	96.3	-
17	259	253	-	-	-	-	6	-	-	6	97.7	-

- (注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。
 4 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

(2) 高 等 部 [表32、統計表68・69]

ア 本年3月の卒業生数は569人で、前年より13人(2.3%)増加している。

イ 男女別では、男365人(構成比64.1%)、女204人(同35.9%)である。

ウ 大学等進学者は7人(男5人、女2人)で、うち盲・聾・養護学校高等部専攻科へ2人進学している。

エ 社会福祉施設等入所、通所者は274人(男171人、女103人)で、その内訳は、授産施設に164人(構成比59.9%)、更正施設59人(同21.5%)、医療機関26人(同9.5%)、児童福祉施設25人(同9.1%)である。

表32 盲・聾・養護学校(高等部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	大学等進学率	就職率
平成13年3月	503	17	3	1	23	95	362	2	-	264	3.4	18.9
14	502	10	-	-	26	83	383	-	-	272	2.0	16.5
15	515	11	3	-	16	90	395	-	-	298	2.1	17.5
16	556	10	5	-	17	99	423	2	-	302	1.8	17.8
17	569	7	6	4	16	97	438	1	-	274	1.2	17.0

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。
 4 「就職率」とは、卒業生のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

不就学学齡児童生徒調査 [表 33、統計表 76・77]

- ア 不就学学齡児童生徒の総数は 126 人(就学免除者 29 人、就学猶予者 97 人)で、前年度より 8 人(6.8%)増加している。
- イ 1 年以上の居所不明者は 4 人で、前年度より 1 人増加している。
- ウ 平成 16 年度間の学齡児童生徒死亡者数は 40 人で、前年より 3 人増加している。

表33 不就学学齡児童生徒数 (人)

区分	計	就学免除者				就学猶予者				居所不明	死亡		
		計	男		女		計	男				女	
			6~11歳	12~14歳	6~11歳	12~14歳		6~11歳	12~14歳			6~11歳	12~14歳
平成13年度	76	16	8	3	4	1	60	25	9	14	12	6	46
14	91	18	8	4	6	-	73	28	10	22	13	6	47
15	109	22	8	3	9	2	87	44	7	26	10	6	37
16	118	29	8	6	10	5	89	45	11	25	8	3	37
17	126	29	12	5	9	3	97	45	9	31	12	4	40

学校施設調査

1 学校建物面積 [統計表 78]

ア 私立の建物面積は 1,613,700 m²(設置者所有 1,597,664 m²、借用 16,036 m²)で、前年度より 22,147 m²(1.4%)減少している。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 1,283,345 m²(構成比 80.3%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 274,437 m²(同 17.2%)、木造 39,882 m²(同 2.5%)である。

イ 公立(専修学校)の建物面積は 37,391 m²(設置者所有 35,885 m²、借用 1,506 m²)で、前年度より 7,650 m²(25.7%)増加している。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート 29,972 m²(構成比 83.5%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他 4,401 m²(同 12.3%)、木造 1,512 m²(同 4.2%)である。

2 学校土地面積 [統計表 78]

ア 私立の土地面積は 5,285,755 m²(設置者所有 4,896,777 m²、借用 388,978 m²)で、前年度より 109,552 m²(2.0%)減少している。

イ 公立(専修学校)の土地面積は 93,368 m²(設置者所有 85,411 m²、借用 7,957 m²)で、前年度より 48,779 m²(109.4%)増加している。